

2008 年度

科目名 映像文化 I	対象学科・学年 文学部日文 2 回生	担当者 江村 公
授業テーマ アメリカ映画を題材に映画の見方の基礎を学ぶ		
授業の概要と目標 アメリカ映画を題材にメディア・リテラシーの観点から、映画の見方の基礎を学ぶことがこの授業の第一の目標である。そのために、映画を鑑賞した後で、その構造の詳細な分析を行うが、映画の全体と細部に着目することで、映像と音声に対する集中力を高めてもらいたい。また、授業では、映画の背景となるアメリカの歴史や文化の多様性について理解を深め、さらに、ハリウッド映画と日本映画との影響関係についても触れたい。		
評価方法 出席点 5 0 %、学期末レポート 5 0 % で評価		
テキスト 特になし	著者	出版社
参考書 授業中に指示する	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1. はじめに 2. 家族と人種、『スパングリッシュ』の鑑賞（前半） 3. 映画鑑賞（後半） 4. 解説とその他の映像の紹介 5. ジャンルとしてのミュージカル、『ドリーム・ガールズ』の鑑賞（前半） 6. 映画鑑賞（後半） 7. 解説とその他の映像の紹介 8. 冷戦後の世界、『スパイ・ゲーム』の鑑賞（前半） 9. 映画鑑賞（後半） 10. 解説とその他の映像の紹介 11. 西部劇に見る民主主義、『リバティ・バランスを撃った男』（前半） 12. 映画鑑賞（後半） 13. 解説とその他の映像の紹介 14. ハリウッド映画と日本映画との関わりについて 15. まとめ		